

前期基本計画 平成30年度 基本施策方針書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：04 河川砂防・雨水排除施設の整備

主管課長職・氏名	河川課長 五日市 朗
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	<p>市内を流れる河川や市街地の雨水排水の氾濫による浸水被害を未然に防止するため、浸水対策にかかる計画的な整備を行うとともに、火山砂防や土石流・地すべりなどの土砂災害から市民を守るため、これらを所管する国や県に協力し必要な整備を推進することにより、自然災害に強い安全・安心なまちづくりを目指します。</p>
--	---

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮ら し 単 位 件 浸水被害件数	1	1	1	1	1	1	-	
			1	0	0	-	-	0.0	
2	幸 福 単 位 % 滝沢市に愛着を持っている人の割合	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	78.3	0	-	-	0.0	
	単 位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施 策 名 施 策 目 標 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮ら し 単 位 件 04040100 安全安心な雨水排除施設の整備 浸水被害件数	1	1	1	1	1	1	-	
			1	0	0	-	-	0.0	
2	幸 福 単 位 % 04040100 安全安心な雨水排除施設の整備 滝沢市に愛着を持っている人の割合	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	78.3	0	-	-	0.0	
3	暮ら し 単 位 % 04040200 自然災害に対する地域保全 災害に強いまちだと感じている人の割合	42.7	44	44	45	46	47	-	
			40.7	46.9	0	-	-	0.0	
4	幸 福 単 位 % 04040200 自然災害に対する地域保全 滝沢市に愛着を持っている人の割合	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	78.3	0	-	-	0.0	
	単 位								

前期基本計画 平成30年度 基本施策方針書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：04 河川砂防・雨水排除施設の整備

主管課長職・氏名	河川課長 五日市 朗
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 基本施策目標の進捗状況分析

- ・火山砂防や土石流・地すべりなどの土砂災害対策として、これまで、国の直轄砂防事業の要望活動を行うとともに、土砂災害警戒区域等について、岩手県が行う指定に伴う地元調整に協力し対策事業に対する要望活動を行っています。
- ・浸水対策としては、市街化区域については下水道事業により順次整備を進めてきており、その他の普通河川については事後保全を主体とした浸水対策及び災害対策を進めています。そのほかに、小岩井地区の浸水被害の対策として、準用河川仁沢瀬川について、国庫補助事業による改修を進めます。

(2) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

- ・ゲリラ豪雨などの局地的な降雨による浸水被害、それに付随する地すべりや土砂崩れ、火山災害など住民の不安要素が増加する中、計画的な対策が求められていますが、予防保全に係る国や県の補助金等の確保は厳しい状況となっています。
- ・市はこれまで災害復旧などを中心とした事後保全が主体となっており、今後効率的な浸水対策を講じていくためには、長期的な視点に立ったビジョンと計画が求められています。

(3) 政策との関連性

都市基盤部門の政策である「ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します」を実現するため、浸水被害や土砂災害の心配のない安全安心なまちづくりを進める河川砂防・雨水排除施設の整備は、重要な基本施策の一つです。

3. 基本施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 基本施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

市民の安全安心の確保を最優先に、河川護岸の緊急修繕などの河川維持管理に係る迅速な対応を継続するとともに、計画的な河川整備事業、雨水排水対策事業の実施とそれを実現するための特定財源の確保を行っていきます。また、それぞれの整備推進を図るため、可能な限り効率的な設計や発注方法の工夫を行い、工事コストの縮減に努めるものとします。

(2) 基本計画期間内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題

- ・適正な河川維持管理
- ・国庫補助事業による準用河川仁沢瀬川の河川改修事業の推進
- ・電源立地地域対策交付金関連等河川改修・維持管理事業の推進
- ・火山砂防・土砂災害関連要望活動の推進
- ・河川整備計画の策定に向け調査作業

(3) 基本計画期間及び平成30年度重点課題に基づく優先順位の考え方

適正な河川維持管理を基本としつつ、予防保全としての各種事業については直接的な被害の発生率や発生した場合の被害の大きさを勘案し、優先順位を設けるものとします。また、河川整備計画の策定については他事業と並行して、策定手法、財源確保の検討を進めるものとします。

